



あ い さ つ

館林市長
多田 善洋

新年、明けましておめでとうございます。

館林商工会議所の会員の皆様には、輝かしい新春を健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、日頃より本市の商工業の発展と地域経済の活性化に並ならぬご尽力を賜っておりますことに、深く感謝申し上げます。

さて、昨年は、5月に新型コロナウイルスの感染症法上の取扱いが5類へと引下げられたことに伴い、平時のとおりに数多くの行事を開催することができ、市内にも賑わいが戻りつつあると手ごたえを感じております。

特に、7月には実に4年ぶりに館林まつりを開催することができ、2日間で延べ12万人の方々にお越しいただきました。これは、コロナ禍以前の令和元年度の来場者11万人と比較して、約10%の増加であります、実際の会場にはその数字以上の方々の熱気が文字通り「爆発」していたかのように感じられました。

この勢いに乗じて、本年におきましては、閉鎖していたつつじが岡パークインの再開とともに、南側に隣接する公園用地におけるPark-PFI事業によるレジャー空間の創出やさなる産業団地の拡充、継続的な物価高騰対策支援事業を引き続き展開し、市内経済の活性化に注力して参りたいと考えております。昨年11月に発表された日本銀行前橋支店の群馬県金融経済概況では、「県内景気は、資源高などの影響を受けつつも、持ち直している。」とされていますが、依然として不安定な国際情勢によって長引く円安や原材料費の高騰によって、影響を受けている市民の方々も多くいらっしゃるものと存じております。早く景気回復を実感していただけるよう全力で取り組んでまいりますので、商工会議所会員の皆様におかれましても、変わらぬご支援ご協力をお願いいたします。

さて、このような中で、本市は令和6年4月1日に市制施行70周年を迎えます。この記念すべき年を迎えられるのも、本市の経済活動を強力に支えてくださっている館林商工会議所会員の皆様のお力添えの賜物です。この場をお借りして厚くお礼申し上げますとともに、続く80年90年そして100周年を超えて、本市の発展の礎を築くべく、今後とも温かいお力添えをいただきたく、お願い申し上げます。

結びに、館林商工会議所の益々のご発展と、会員の皆様ご希望に満ちた一年を迎えられますことを祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。



あ い さ つ

館林市議会議長
権田 昌弘

あけましておめでとうございます。

2024年の輝かしい新春を迎え、館林市議会を代表いたしまして、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

皆様方には、平素より市議会の活動に対しまして多大なるご支援ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症がインフルエンザと同様の5類へ引き下げられ、ウィズコロナ時代へと本格移行いたしました。これに伴い、様々なイベントや催しが再開され、徐々にではありますが、人と人とのふれあいや笑顔が戻ってまいりました。

一方で、夏の平均気温が史上最高を記録したほか、多発化する線状降水帯の発生や、人間の生活域に頻繁にクマが出没するなど、私たちの暮らしにも大きな影響を与えるような自然環境の変化を背景に、「持続可能な社会」の実現が喫緊の課題であることを再認識した年でもありました。

また、社会経済に目を向けますと、国内景気は回復傾向にあるものの、そのペースは緩やかなものにとどまっており、地域経済の状況は未だ厳しい状況にあると認識しております。

こうした中、商工会議所におかれましては、事業者支援に向けた様々な事業に取り組まれるとともに、麵-1グランプリを4年ぶりに開催するなど、本市経済の維持・発展のために多大なるご貢献をいただいておりますことに、衷心より感謝を申しあげる次第でございます。

市議会といたしましても、行政との連携のもと、人と産業が躍動する魅力あるまちの実現に向けて、全力で取り組んでまいり所存でございます。

商工会議所におかれましては、今後とも地域経済の先導役として、本市商工業の健全なる発展にお力添えをお願い申しあげる次第でございます。

結びに、商工会議所の益々のご発展と皆様方のご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。